

「大好きな、白いごはんとおじいちゃん」

斐太北小学校6年

外崎 涉夢

ぼくは大好きなおじいちゃんがいます。

毎年夏休みと冬休みに、泊まりに来て、僕と遊びます。冬に、雪でかまくらを作ったり、ソリで、遊びました。かまくらを作るのは、大変だったけど、おじいちゃんはすごいです。筋肉もあって力もちです。缶が中に入れるくらいのかまくらをつくってくれました。おじいちゃんの筋肉はかっこいいです。

僕は、おじいちゃんのようになるには、どうしたらいいのかな、聞きました。そしたら、おじいちゃんは、「ごはんをたくさん食べると、筋肉ができるんだよ。」と言ってくれました。おじいちゃんは、白いごはんが大好きです。いつも、井ぶりでたくさん食べていてすごいと思います。ぼくも白いごはんが大好きです。最近、たくさん食べれるようになってきました。今度一緒に井ぶりで、おじいちゃんと食べたいです。

食べることが大好きなおじいちゃんはこの
前冬休みに倒れてしまいました。体が動かかな
いし、話すこともできなくなりました。しか
も、右手が動かなくなっていました。でもリ
ハビリをがんばって、車イスに座れることが
出来ました。すぶくがんばったんだと思い、
僕は、涙が出ました。すぶくすぶく泣けしく
で泣きました。それから、おじいちゃんは
がんばって、少しだけ食べれるようになりま
した。でもまだ白いごはんは食べれません。

僕は、一番大好きなたききたての白いごはんを
食べさせてあげたいと思います。

そして、一緒に、ごはんを食べたいです。

おじいちゃんも、おばあちゃんも、みんな
ごはんを食べると笑ってそうです。

おいしいおかずといっしょに食べるごはん
はおいしいです。ハンバーグ、ソーセージ、
卵、カレーなど、どれもごはんと相性がよい
です。それに、みんなで食べると、一人より
もおいしくなります。それが、幸せです。

でも、僕とか、みんなみたいに、幸せじゃない人もいます。ごはんがうまくて食べられないし、食べ物が少ないし、水もない人がうんじになるのが、僕は、悲しくて、悲しくて、たえられません。世界には、幸せじゃない人もいるし、思うと、悲しくて、いやになってきます。自分で野菜を育てて、自給自足をして、食べ物や、水のムダをなくしたいです。そして、その食べ物を、食べ物がない人にあげたいです。みんなが幸せに、楽しくごはん

が食べられるようになってほしいです。